

新潟地方本部で 新たな仲間が加入!



新たな仲間とともに がんばろう!!

1. 乗務員からの危険申告を上回る指示は行わない」という団体交渉確認事項を徹底すること。
2. E129系のブレーキディスク凍結対応のため、村上駅及び吉田駅に検修社員を配置すること。
3. E129系の制輪子固滞時の限流値増の取り扱いを明確に決め、現場に周知すること。
4. 降雪時及び気温が低下した際のE129系ブレーキ効果の確認方法を明らかにすること、また、取り扱いを該当する運輸区乗務員に周知すること。
5. キハ110系、キハ48系前面窓の熱線の容量増及び配備を行うこと。
6. 今後の暖房予熱の時間指定に対する考え方を明確にすること。
7. 磐越西線徳沢駅構内の融雪設備を強化すること。
8. ビームからの降雪の恐れがあるときは列車の運行を取りやめ、ビーム除雪を優先すること。
9. 上越線カッター代行運行を、下り始発列車に合わせた運行とすること。
10. 1月17日に発生した1121D越後川口発車後雪を抱えて停車した事象を踏まえて、上越線越後川口駅飯山本線から上越線への渡り線へかけての除雪体制の対策を講じること。
11. 只見線大白川〜只見間2422D雪崩と衝突した箇所に再発防止策を講じること。
12. 冬期間において只見線2428D〜回2429D場面を、大白川駅本線折り返しとすること。
13. 只見線トンネルの雪庇落としの時間確保のために計画除雪を行うこと。
14. 只見線の除雪体制は、雪を抱えて停車することのないように対策を講じること。
15. 六日町〜越後湯沢間の除雪体制は、雪を抱えて停車することのないように対策を講じること。
16. 酒田駅4番線・5番線(南南方) 入信手前に融雪マットを設置し、積雪時の視認性を確保すること。
17. 上沼垂信号場のポイント34号、35号、38号を温水ジェット式とすること。
18. 村上駅下1番線、坂町

より安全で安定した冬期輸送の実現を!

申5号 2017年度「冬期の取り組み」に関する申し入れを提出

新潟地本は11月7日、申5号として2017年度「冬期の取り組み」に関する申し入れを提出しました。

近年は暖冬、少雪傾向にあり、冬期における大きな輸送障害は減少傾向にあるといえます。

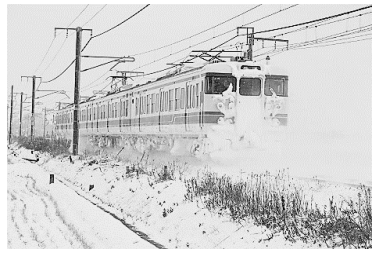
しかし今年1月17日には上越線1725Mで、ビームからの降雪による社員の負傷という事象が発生しました。社員・お客さまの命を失いかねない重大な事象であり、二度と発生させないために団体交渉を通じて原因の究明と対策について議論を行いました。

また、E129系のブレーキディスク凍結やE653系の窓ガラス破損、副本線の除雪体制や信号機への着雪、ワンマン運転に起因する様々な問題など、放置をすれば輸送障害を巻き起こし、社員やお客さまの死傷にもつながりかねない事象についても、労使で認識の一致を図ってきました。

10月11日の団体交渉において新潟地本は、「2017年度 冬期の取り組み」について提案を受けました。

この間の冬期検証交渉などを通じて主張してきた内容が一定程度取り入れられたことは評価でき、一方で、現場の実態に照らし合わせれば、まだ不足する部分や改善の余地が見受けられます。

より確実に効果的な対策を講じる事で、より安全で安定した冬期輸送を実現するために、新潟地本は11月7日、現場第一線で働く社員の声に基づき申5号として2017年度「冬期の取り組み」に関する申し入れを提出しました。



◆ 申5号 申し入れ項目 ◆

1. 乗務員からの危険申告を上回る指示は行わない」という団体交渉確認事項を徹底すること。
2. E129系のブレーキディスク凍結対応のため、村上駅及び吉田駅に検修社員を配置すること。
3. E129系の制輪子固滞時の限流値増の取り扱いを明確に決め、現場に周知すること。
4. 降雪時及び気温が低下した際のE129系ブレーキ効果の確認方法を明らかにすること、また、取り扱いを該当する運輸区乗務員に周知すること。
5. キハ110系、キハ48系前面窓の熱線の容量増及び配備を行うこと。
6. 今後の暖房予熱の時間指定に対する考え方を明確にすること。
7. 磐越西線徳沢駅構内の融雪設備を強化すること。
8. ビームからの降雪の恐れがあるときは列車の運行を取りやめ、ビーム除雪を優先すること。
9. 上越線カッター代行運行を、下り始発列車に合わせた運行とすること。
10. 1月17日に発生した1121D越後川口発車後雪を抱えて停車した事象を踏まえて、上越線越後川口駅飯山本線から上越線への渡り線へかけての除雪体制の対策を講じること。
11. 只見線大白川〜只見間2422D雪崩と衝突した箇所に再発防止策を講じること。
12. 冬期間において只見線2428D〜回2429D場面を、大白川駅本線折り返しとすること。
13. 只見線トンネルの雪庇落としの時間確保のために計画除雪を行うこと。
14. 只見線の除雪体制は、雪を抱えて停車することのないように対策を講じること。
15. 六日町〜越後湯沢間の除雪体制は、雪を抱えて停車することのないように対策を講じること。
16. 酒田駅4番線・5番線(南南方) 入信手前に融雪マットを設置し、積雪時の視認性を確保すること。
17. 上沼垂信号場のポイント34号、35号、38号を温水ジェット式とすること。
18. 村上駅下1番線、坂町

6期連続の増収・過去最高益を実現した社員の努力に対し 2年連続据え置きを回答

2017年度年末手当 3.18カ月を回答

中央本部は11月16日、2017年度年末手当に關して3回目の団体交渉を行い、経営側より回答を受けました。

要求からかけ離れた「基準内賃金の3.18ヶ月分」との回答に加え、55歳以上の社員への加算、エルダー社員とグリーンスタッフの精勤手当への加算はいずれもゼロ回答であり、交渉団は粘り強く再考を求めました。

経営側は、営業利益の水増しを一番の判断の材料にしておりと主張、営業費の増加を強調しました。

交渉団は、経営側はコストについて完全にコント

ロールしていることから、不安要素としては承服できないと指摘しました。

JR他社や大企業と比較しても3.18ヶ月は遜色ない水準だとする経営側に対して、単純な月数のみと比較は無意味であると指摘しました。

また平均額で昨年より5,000円上がるという説明に対し、平均額を見なければ確認できないほどの微増であり、社員の努力に対する評価として低すぎると強く主張しました。

交渉団は席上妥結せず持ち帰り、中央執行委員会と稟議の結果、妥結する判断に至りました。

19. 新津駅構内8番線の指定通路の除雪を確実に行うこと。
20. 吉田駅の指定通路の除雪は誰が行うのか明らかになること。
21. 新津運輸区の休養管理室を増設すること。
22. えちごトキめき鉄道直江津運輸センター乗務員休養管理室に暖房を入れること。
23. 新潟30キロ圏における投排雪保守用車による除雪体制の見直しを行うこと。
24. 架線着氷霜対策を見直し強化を行うこと。

団体交渉の日程決定

11月22日(水) 10時00分より
申5号
2017年度「冬期の取り組み」に関する申し入れ

11月30日(木) 13時30分より
申7号
2016年度申7号(ゆづり)の販賣体制の見直しに対する申し入れ
団体交渉確認事項の健全な履行を求める申し入れ
指令センタービルで発生した漏水に関する緊急申し入れ

職場から議論を創り出そう!